

## 【ユニット】 疫学

### 【ユニットディレクター】

UD：太田 晶子（社会医学）

### 【一般的な目標】

国民の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障するため「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない」（日本国憲法第 25 条）。医師は「医療及び保健指導を掌ることによって公衆衛生の向上及び増進に寄与」するものである（医師法第 1 条）。本ユニットでは、医師が公衆衛生活動を円滑に推進するための基本的方法である疫学の原理と方法を理解し、医師として必要な、疾病の発生要因の究明、疾病予防のための疫学的方法を身につける。

### 【具体的な目標】

1. 集団における健康、疾病の頻度を測定、記述する技術を修得する。
2. 疾病の発生に関与する要因を明らかにするための基礎的知識、技術を修得する。
3. 集団を対象とした疾病対策の立案、実施、評価に必要な知識、技術を修得する。
4. 疫学を理解するために必修である専門的術語について説明できる。
5. 疫学を理解するために必修である専門的術語を適切に用いることができる。
6. 疫学研究の方法を理解し、適切な研究計画を立案し結果を分析できる。

### 【学習方法】

記憶でなく理解が重要である。講義中に理解するよう努めること。教科書の該当頁で予習してから講義に参加することが理解を助ける。理解できない部分があったら積極的に質問すること。理解できない部分が残ったら、教科書、参考書で復習すること。別途配布する「疫学問題集」の問題を自分の力で解いて理解を確認すること。

具体的には講義の予習・復習を以下のように行うとよい。

・予習：講義前にシラバスの予習項目に示す、教科書の該当頁を読み、シラバスのキーワードの術語の理解に努める。

・復習：講義資料、教科書の該当頁を読み理解を深める。シラバスの復習項目に示す「疫学問題集」該当章の問題を解き、自分の理解度・到達度を確認する。

（なお、基礎的知識として 1 年生で学んだ統計学を復習・理解しておくこと。）

講義内小テストは当該講義内に解説を行う。レポート課題に対しては全体としての講評を講義内（あるいは事後配布の形）で行う。レポートを課す場合、内容・要領はユニット開講時あるいはユニット進行中に提示する。

### 【評価方法】

定期試験を行う。定期試験の形式：記述式+MCQ 形式。ユニットの成績は定期試験の成績で評価する。再試験は 1 回行う。（なお、場合によっては成績評価を行うにあたりレポート等を考慮することがある。）

### 【教科書】

1. 基礎から学ぶ楽しい疫学 第 4 版，中村好一，医学書院

## 2. 疫学問題集

### 【参考書】

- ◆ 私の疫学－論理と方法－第4版，永井正規
- ◆ 初・中級者のための読み解く「疫学スタンダード」，車谷典男，診断と治療社
- ◆ はじめて学ぶやさしい疫学 日本疫学会標準テキスト 改訂第3版，日本疫学会，南江堂
- ◆ 保健統計・疫学 改訂7版，福富和夫，南山堂
- ◆ 疫学マニュアル 改訂7版，柳川洋，南山堂
- ◆ ヘルスサイエンスのための基本統計学 第3版，福富和夫，南山堂
- ◆ Ahlbom, A., et al.:Introduction to Modern Epidemiology, Epidemiology Resources Inc., 1990.
- ◆ Rothman,K.J.:Modern Epidemiology, Little Brown and Co., Boston, 1986
- ◆ Beaglehole, R., et al.:Basic Epidemiology, WHO, 1993.

### 【授業予定表】

|      | 月日     | 曜日  | 時限 | 講義名                                                   | 担当者                    |
|------|--------|-----|----|-------------------------------------------------------|------------------------|
| 疫学01 | 04月09日 | (水) | 3  | 疫学概論 (What is Epidemiology?)                          | 太田 (社会医学)              |
| 疫学02 | 04月16日 | (水) | 2  | 疾病頻度の指標 (Measures of Disease Occurrence)              | 太田 (社会医学)              |
| 疫学03 | 04月23日 | (水) | 2  | 曝露効果の指標 (Measures of Exposure Effect)                 | 太田 (社会医学)              |
| 疫学04 | 04月30日 | (水) | 1  | 曝露効果の測定、分析疫学1. コホート研究 (Cohort Study)                  | 太田 (社会医学)              |
| 疫学05 | 05月01日 | (木) | 1  | 曝露効果の測定、分析疫学2. 症例対照研究 (Case-control Study)            | 太田 (社会医学)              |
| 疫学06 | 05月21日 | (水) | 3  | 誤差と偏り、交絡の制御 (Error and Bias, Controlling Confounding) | 太田 (社会医学)              |
| 疫学07 | 06月05日 | (木) | 1  | 率の標準化 (Standardization of Rates), 因果関係の評価 (Causality) | 太田 (社会医学)              |
| 疫学08 | 06月13日 | (金) | 3  | スクリーニング (Screening)                                   | 太田 (社会医学)              |
| 疫学09 | 06月25日 | (水) | 2  | 臨床疫学入門1 (Clinical Epidemiology )                      | 太田 (社会医学)<br>御供 (社会医学) |
| 疫学10 | 07月02日 | (水) | 2  | 臨床疫学入門2 (Clinical Epidemiology)                       | 太田 (社会医学)<br>宮崎 (社会医学) |